

11年目を迎え、次の10年への新たなスタートを切る

「BioFach Japan(ビオファジャパン)オーガニック EXPO」

- 世界のビオファとの連携をさらに深めて

報道各位

ニュルンベルクメッセ(日本代表部:東京都新宿区 代表 ハインツ・W・クールマン)は、今年、11回目の『BioFach Japan(ビオファジャパン)オーガニック EXPO』を11月1~3日に東京ビッグサイトで開催します。

昨年はおかげさまで、10回目の記念開催をこれまでにない規模と内容で、成功裏に閉幕いたしました。ひとつには、農林水産省が推進する「産地収益力向上支援事業」の一環として初の有機農産物のマッチングフェアが会場で開催され、全国から多くの有機生産者が集まりました。

また、昨年新設した「ナチュラル&エコ・プラザ」には、「衣・食」、ケア用品だけでなく「住」までも含めた広範なナチュラル・エコ製品が集まり、ビジネスだけでなく一般消費者の関心も集めることができました。このような10回目の成果を基に、ビオファジャパン・オーガニック EXPO は次の10年に向け、さらなる飛躍を期して出展社募集を開始いたします。

● ビオファジャパン・オーガニック EXPO2011 出展募集開始！

ドイツで1990年以来、毎年開催されている世界最大の有機専門見本市「ビオファ」の日本版である「ビオファジャパン・オーガニック EXPO」は、2001年に日本で有機JAS法が施行された年に第1回を開催し、以来、日本の有機農産物の市場の進展と共に歩んできました。

11年目の本年も、食はもとより、ファッション、コスメ、リビング関連など幅広い分野のオーガニック・ナチュラル・エコ事業者を募集します。有機認証あるいはビオファ独自の基準をクリアした製品を集めるオーガニックエリアは昨年と同じく3つのゾーン(オーガニック・フードギャラリー、オーガニックコットン・ストリート、ウェルネス・パーラー)に分け、ナチュラルやエコ製品・非認証製品のための「ナチュラル&エコ・プラザ」を併設いたします。

次の新たな10年に向け、出展料金を見直し、出展しやすいエコノミーパッケージを新設

出展料金はスペースのみ1小間(9平米)で330,750円、ベーシックなレンタルスタンドつきで425,250円、フル装備のレンタルスタンドつきで472,500円(価格はいずれも税込み)。4月末日までのお申し込みでスペース料の5%割引キャンペーンも行います。また、昨年好評であったレンタルスタンドからのステップアップ・スタンドとして、エコノミーパッケージを新設しました(6㎡、ベーシックスタンド込みで246,750円)。

● オーガニック EXPO の性格を変えた「ナチュラル&エコ・プラザ」

10年の間に、ビジネス一辺倒のオーガニック EXPO はともすれば、出展社・入場者ともにマンネリ化したという声も聞こえてきました。そこでこ入れとして昨年新設した「ナチュラル&エコ・プラザ」は、これまでのオ

ーガニック EXPO の殻を破る役割を果たしました。これまでにない入場者が予想以上に多く、販路拡大につながったという出展社の声に励まされ、今年の「ナチュラル&エコ・プラザ」にも、日本オーガニックコットン協会副理事長渡邊智恵子さんやオーガニックコットンの国際基準である GOTS 地域代表でファッションジャーナリストの生駒芳子さん、農商工連携の大和田順子さん他をサポートに迎え、昨年以上の成果を期しています。

● 世界の「BioFach」と連携 — 日本の有機食品も輸出の時代を迎えるか？

ご存知のように、「BioFach」は国際的なオーガニック専門見本市です。これまでも、日本のオーガニック EXPO の出展社がいくつか単独でドイツやアメリカ、中国へ出展してきました。また、昨年の農水省の支援事業の「有機農業で生産された農作物のマッチメイキングフェア」には海外からの入場者が日本の有機農産物に多大の関心を示しました。今年のニュルンベルクの「BioFach」には日本の共同ブースが2つできます。ひとつは、オーガニック EXPO 事務局(ABC エンタープライズ)が中心となり運営する有機 JAS 食品が中心の共同ブースで、金沢大地、日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会、フーズプロジェクト、天鷹酒造、中根製茶、ナチュラルハウスが参加。もうひとつは神奈川県企業の共同ブースです。出展社はオーガニックコットンの新藤のほか、おもにナチュラル製品を紹介するヴェルデ、レジテックス、セラリカ野田、ホソヤです。

BioFach 2011(会期:2月16日~19日、ドイツ・ニュルンベルク)は「有機農業で世界人口70億人を養う！」というテーマで展開します。天候不順や天災の多発で、世界中が地球の未来に懸念を抱いています。安全な有機農業で未来は拓けるのか、オーガニック EXPO は世界のBioFachとの連携を強めるために、BioFach・ニュルンベルクの今年のテーマを、11月のオーガニック EXPO 会場でパネル展示する予定です。

参考情報:BioFach 2011 出展社(順不同)のおもな出展品

(株)金沢大地	小麦粉、大豆、きな粉、味噌、醤油、麦茶、米、日本酒、甘酒
日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会	味噌、米酢、おかき、醤油、きな粉
(株)フーズプロジェクト	緑茶
天鷹酒造(株)	日本酒、辛味もろみ
中根製茶(株)	緑茶
(株)ナチュラルハウス	大豆、きな粉、味噌、醤油、緑茶、番茶、へちま水(エコサート認証)
ABC エンタープライズ	日本の有機市場調査報告書(IFOAM ジャパン・英語版)、米、緑茶、醤油
(株)新藤	オーガニックコットン製品
(株)ヴェルデ	ヴェルデナイト(ピートモス苗床)
(株)レジテックス	床用ワックス(木蠟、蜜蠟などの植物原料)
(株)セラリカ noda	天然ゴム製封シール
(株)ホソヤ	有機飼料製造機

本件に関するお問い合わせは

BioFach Japan オーガニック EXPO 事務局 ABC エンタープライズ(株)内 担当: 中村
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7-210
Tel: 03-5369-6788 Fax: 03-5369-7759 E-mail: biofach@abcenterprises.jp